

総合国際経済Ⅱ

科目ナンバリング ECP-402
選択必修 2単位

中西 俊裕

1. 授業の概要(ねらい)

世界経済は国際政治の動向に大きく影響を受ける時代に入っています。それは米大統領選挙を巡る問題や、米中の対立、中東の政情不安などを見ると明らかです。当授業では地域、国ごとに経済が政治的な関係変化によって受ける影響を、新しい実例を扱いながら、それを過去の事例と比較することで国際情勢がどういう方向へ向かうかを考えます。これまで習得してきた経済に関する知識、経済学の考え方を、題材を通じて確認し、かつ柔軟な思考を養うのが狙いです。

2. 授業の到達目標

到達目標は国際経済と日本とのかかわりについて、多面的に理解する能力を培います。各国経済の課題について理解したうえで、学んだ要素を組み合わせ、国際経済について自分なりの見通しを立てて説明できるようになることです。

3. 成績評価の方法および基準

中間レポート40%、期末試験60%

4. 教科書・参考文献

教科書

プリントを作成し配布します

参考文献

船橋洋一 地経学とは何か(文春新書) 文芸春秋

5. 準備学修の内容

新聞やインターネットや参考文献で関係テーマに関するニュースや基本事項を点検する

6. その他履修上の注意事項

出席60%以上で期末試験を受ける資格ができます。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 米国①バイデン新政権が直面する経済問題(新型コロナウイルス対策、地球温暖化対策投資、先端技術テコ入れなど産業政策、物価と金融政策)
歴史的視点
- 【第3回】 米国②外交・社会問題(対中政策、同盟国関係強化、対ロシア、アフガニスタンなど対中東外交、国内人種間分断問題など)
- 【第4回】 中国①中国経済の現状(コロナウイルスへの対応と経済成長、企業への規制強化、債務問題など)
- 【第5回】 中国②外交・社会問題(欧米との対立点、対ASEAN領海問題、香港情勢など)
- 【第6回】 中東①経済問題(産油国経済と原油市場、域内格差、紛争と経済開発など)
- 【第7回】 中東②外交・社会問題(サウジアラビアとイランの宗派対立、域内国交正常化、アラブ諸国の民主化など)
- 【第8回】 欧州①経済問題(各国の低成長、低インフレと対応策、域内経済格差問題)
この前後にレポート提出
- 【第9回】 欧州②外交・社会問題(英国の欧州離脱、極右台頭、難民問題など)
- 【第10回】 東南アジア①経済問題(各国の成長余力、米中対立の影響、域内新興企業の成長度と展望など)
- 【第11回】 東南アジア②外交・社会問題(ASEANの外交力、対中国での資金依存と警戒感など)
- 【第12回】 テーマ別 自由貿易圏(TPPとRCEP、国別の利害と域内経済への効果)
- 【第13回】 テーマ別 エネルギー(石油から再生エネルギーへの移行期と経済的な変動)
- 【第14回】 まとめと質疑応答
- 【第15回】 まとめと期末試験